

(10) スポーツ施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、スポーツを通じ、体位の向上と規律、協調、友愛の精神のかん養を図り、心身ともに健全な市民を育成するため、スポーツ施設を9施設設置しています。

保有機能は、体育館、トレーニングジム、スタジオ、柔道場、剣道場、温水プール、グラウンド、野球場、テニスコート、屋外プール、ジョギングコース等、様々な機能を保有しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	屋内施設										屋外施設							備考
					大 体 育 室	小 体 育 室	体 育 室	ト レ ー ニ ン グ ジ ム	ス タ ジ オ	柔 道 場	剣 道 場	温 水 プ ール	グ ラ ウ ン ド	サ ッ カ ー	野 球 場	ソ フ ト ボ ー ル 場	多 目 的 運 動 場	テ ニ ス コ ー ト	水 泳 プ ール	ジ ョ ギ ン グ コ ー ス	(その他 ※詳しき)	
1 スポーツ公園	小牧市大字間々原新田 737番地	17,657.1	平成13	鉄骨鉄筋コンクリート	●	●		●	●				●							●	●	
2 温水プール	小牧市大字野口2394番地 3	6,671.8	平成3	鉄筋コンクリート								●							●			
3 さかき運動場	小牧市新小牧一丁目73番 地	196.0	昭和58	鉄骨造											●			●				
4 南スポーツセンター	小牧市郷中二丁目201番 地	2,983.0	昭和55	鉄筋コンクリート						●	●				●				●		●	
5 大輪体育館	小牧市小牧一丁目114番 地	868.7	昭和56	鉄骨造			●														●	
6 総合運動場(市民球場)	小牧市大字上末3450番地 303	6,573.6	昭和62	鉄筋コンクリート										●		●					●	
7 堀の内体育施設	小牧市堀の内一丁目2番 地	582.5	昭和63	鉄骨鉄筋コンクリート						●	●											
8 スポーツセンター (まなび創造館)	小牧市小牧三丁目555番 地	5,031.1	平成7	鉄骨造	●			●	●													
9 勤労センター	小牧市大字上末2233番地 2	2,208.0	昭和57	鉄骨鉄筋コンクリート			●									●		●				
合計		42,771.8																				

② 運営時間等

名称	区分	運営時間	休場日	運営 日数	使用 料金
スポーツ公園	サッカーグ ラウンド	午前9時～午後9時30分 (7月1日から8月31日までの期 間は、午前6時30分～)	・毎月第4木曜日(国民の祝日に あたる場合はその日に最も近 い平日) ・年末年始(12月29～翌年1月3 日)	348 日	有料
	トレーニン グジム	午前9時30分～午後9時30分 (日曜日は午後8時まで)			
	メインアリーナ サブアリーナ 会議室	午前8時30分～午後9時30分			
温水プール		平日：午後1時～午後8時(7月 1日から8月31日まで午前10時 ～) 土曜日、日曜日・祝日：午前10 時～午後8時	・月曜日、祝日の翌日(この日が 休日にあたるときおよび7月1 日～8月31日は開場) ・年末年始(12月28日～1月4 日)	281 日	有料
さかき運動場	テニス コート	午前9時～午後9時30分(12月 から3月は午前9時～午後5時)	・水曜日(祝日の場合その翌日) ・年末年始(12月28日～翌年1 月4日)	306 日	有料
	野球場	午前8時30分～午後9時 (11月から3月は午前8時30分 ～午後5時)			
南スポーツ センター	グラウンド	午前8時30分～午後9時 (11月から3月は午前8時30分 ～午後5時)	木曜日(祝日の場合その翌日)、 年末年始(12月28日～翌年1 月4日)	306 日	有料
	柔道場 剣道場	午前8時30分～午後9時30分			
	水泳 プール	午前9時～正午、午後1時～午 後5時 (夏休みに入る前の平日は午後 のみ)	1月～6月、9月～12月	62 日	有料
大輪体育館	体育館	午前8時30分～午後9時30分	・木曜日(祝日の場合その翌日) ・年末年始(12月28日～翌年1 月4日)	306 日	有料
総合運動場 (市民球場)	野球場 会議室大 会議室小	午前8時30分～午後9時 (11月から3月は午前8時30分 ～午後5時)	・4月～10月無休 ・11月～3月木曜日 ・年末年始(12月28日～1月4 日)	336 日	有料
	多目的	午前8時30分～午後9時			
堀の内体育施設	柔剣道場	午前8時30分～午後9時30分	・木曜日(祝日の場合その翌日) ・年末年始(12月28日～翌年1 月4日)	308 日	有料
スポーツセンター (まなび創造館)	アリーナ	午前9時30分～午後9時30分	・毎月第3火曜日(11月は第3 月・火曜日) ・年末年始(12月29日～翌年1 月3日)	346 日	有料
	トレーニン グジム				
勤労センター	ソフト ボール場	午前9時～午後5時	・年末年始(12月28日～翌年1 月4日)	356 日	有料
	体育館	午前9時～午後9時30分			
	テニス コート	午前9時～午後9時30分 (12月から3月は午前9時～ 午後5時)			

③ 利用方法

【スポーツ公園、総合運動場、さかき運動場（野球場）、南スポーツセンター（水泳プール除く）、堀の内体育施設、大輪体育館、まなび創造館】

小牧市体育施設利用登録団体申請書、又は小牧市体育施設利用届出団体申請書を提出し、スポーツ施設利用登録証の発行を受けます。施設予約の際に、その登録証を受付窓口に提示し、利用料金（無料施設は不要）を支払います。

※まなび創造館は、個人での利用ができます。

【さかき運動場（テニスコート）、勤労センター（テニスコート）】

小牧市テニスコート利用者登録申請書を提出し、小牧市テニスコート利用登録証の発行を受けます。施設予約の際に、その登録証を受付窓口に提示し、利用料金を支払います。

【温水プール】

温水プールの券売機で入場券を購入します。

【南スポーツセンター水泳プール】

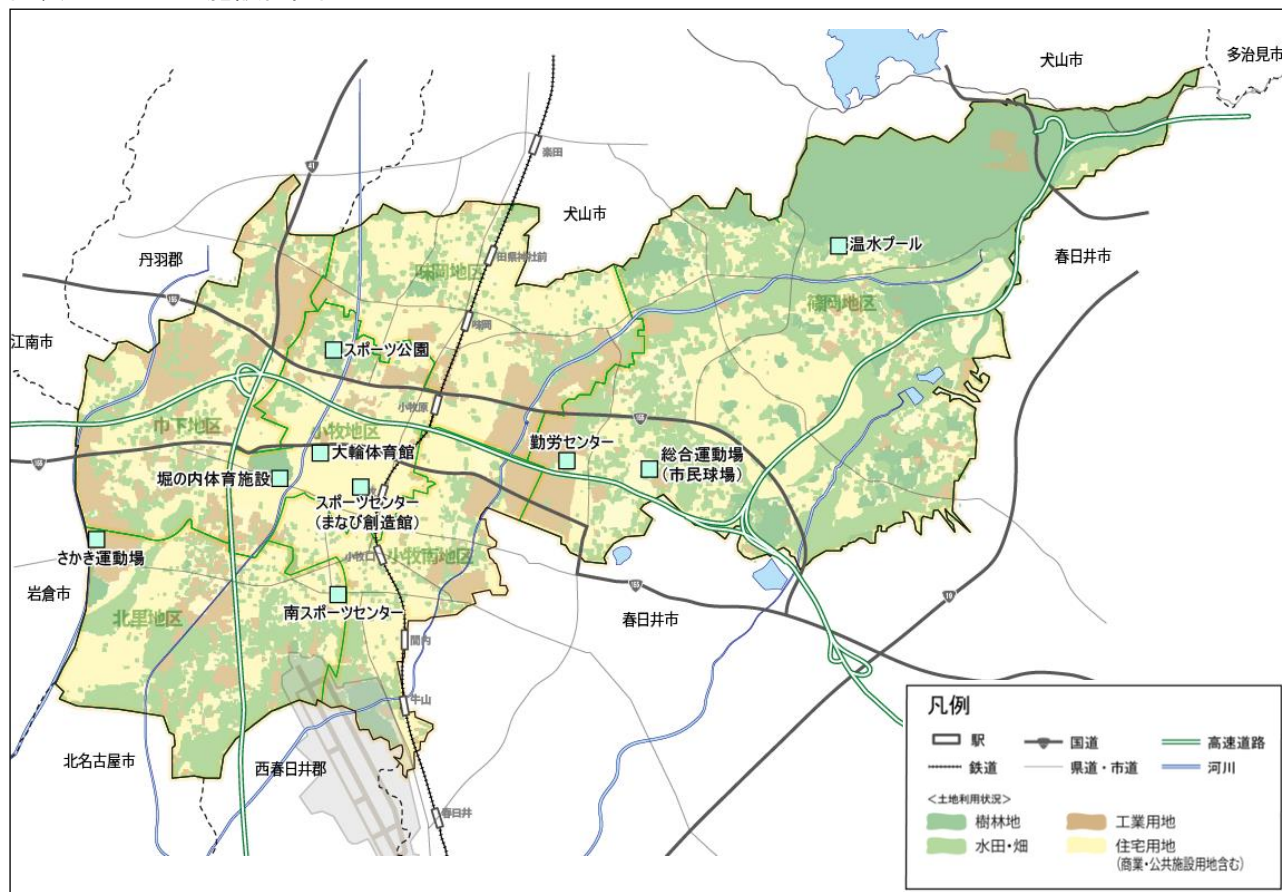
窓口で入場券を購入します。

【勤労センター（体育館・ソフトボール場）】

受付窓口で利用料金（無料施設は不要）を支払います。

④ 配置状況

図表 スポーツ施設位置図

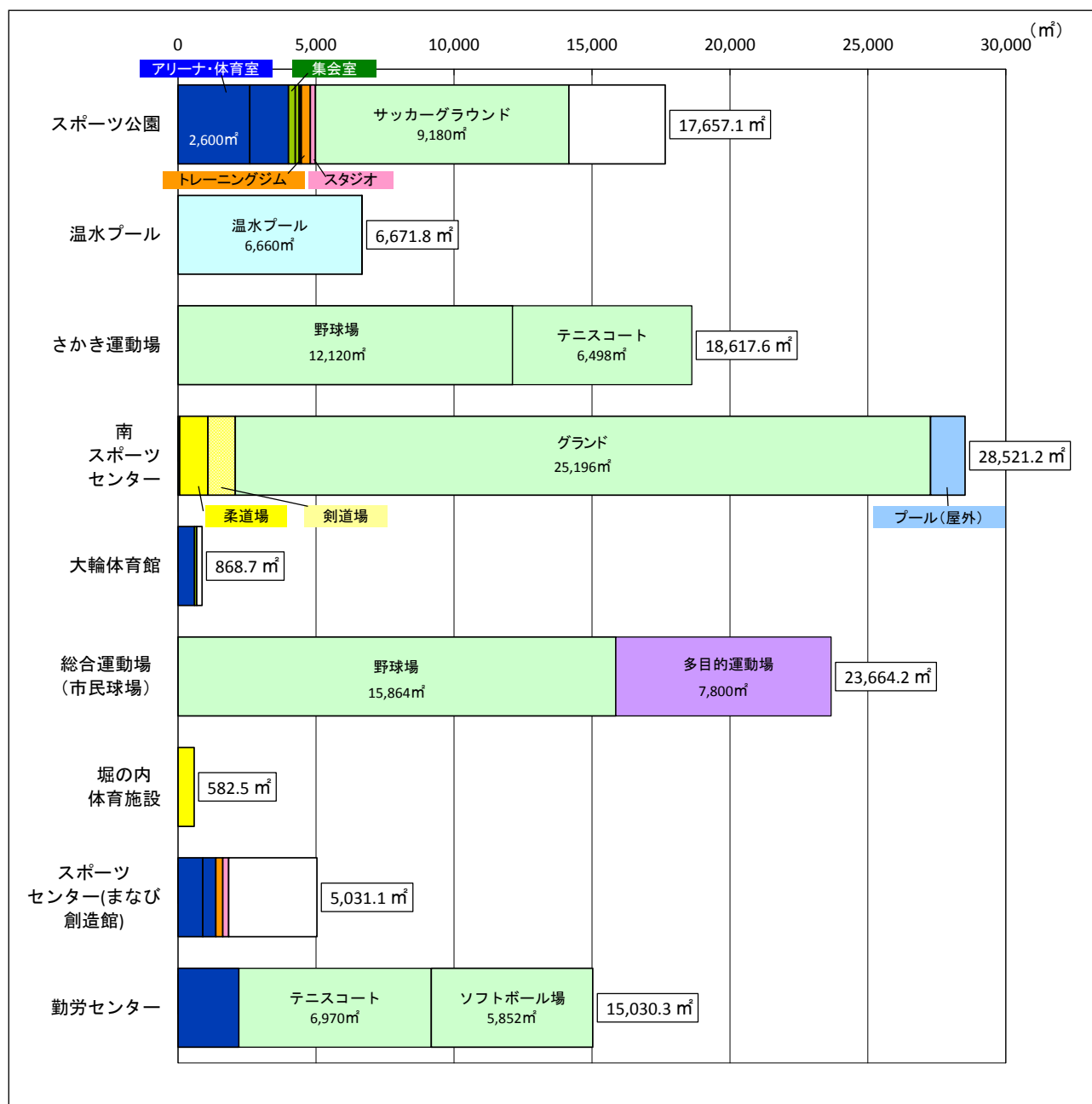


⑤ スペース構成

スポーツ施設の面積は、堀の内体育施設の 583 m²から南スポーツセンターの 2 万 8,521 m²となっています。

保有スペースをみると、グラウンド、アリーナ・体育室、柔道場、剣道場、温水プール、屋外プール、会議室等規模によって様々な付属機能を保有しています。

図表 スペース構成(平成 24 年度)



2) 実態把握

① 建物状況

■ スポーツ施設の建物総合評価結果

平成25年度のスポーツ施設8施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応							④環境対応	⑤維持管理(H24年度)								
															維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)						
		建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後または直近の大規模改修年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	トイレの洋式化	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	スポーツ公園	平成13	17,657	—	12		12	○	○	○	○	○	○	×	×	○							
2	温水プール	平成3	6,672	—	22		22	—	○	×	○	×	○	×	×	×							
3	南スポーツセンター	昭和55	2,983	○	33	平成21	4	—	○	○	○	×	○	×	×	×							
4	大輪体育館	昭和56	869	—	32		32	—	○	○	×	×	○	×	×	×							
5	総合運動場(市民球場)	昭和62	6,574	—	26	平成19	6	—	○	×	×	×	○	×	×	×							
6	堀の内体育施設	昭和63	582	—	25		25	—	×	○	×	○	○	×	×	×							
7	スポーツセンター(まなび創造館)	平成7	5,031	—	18		18	×	○	×	×	×	○	×	×	○							
8	勤労センター(体育館)	昭和57	2,208	—	31		31	○	○	○	○	×	○	○	×	○							
	合計		42,576																				

①、③、④
の記載例

実施済み：○
未実施：×
不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
※①の「不要：—」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。

大輪体育館、勤労センター（体育館）は、新耐震基準の建物ですが、築30年以上経過しており老朽化が進行しているため、大規模改修工事等の対応が必要な施設です。（パターンB）

温水プールは築20年以上経過しています。そのため、今後計画的な老朽化対策が必要です。（パターンC）

スポーツ公園等4施設は、大規模改修を実施した施設又は比較的新しい施設ですが、一部の施設では、バリアフリー対応及び環境対応等の必要な施設があります。また、老朽化が進行する前に、計画的な予防保全が必要です。（パターンD）

評価	パターンB 老朽化	パターンC 今後 老朽化	パターンD バリアフリー・環境未対応
	・かなり老朽化が進行している	・老朽化が進行している	・バリアフリー、環境対応が未完了
該当施設	該当施設 建築年度 大輪体育館 昭和56 勤労センター(体育館) 昭和57 < 2 施設 >	該当施設 建築年度 温水プール 平成3 堀の内体育施設 昭和63 < 2 施設 >	該当施設 建築年度 スポーツ公園 平成13 南スポーツセンター 昭和55 総合運動場(市民球場) 昭和62 スポーツセンター(まなび創造館) 平成7 < 4 施設 >
コメント	・新耐震基準の建物ですが、老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になります。	・バリアフリーや環境対応が必要な施設は、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

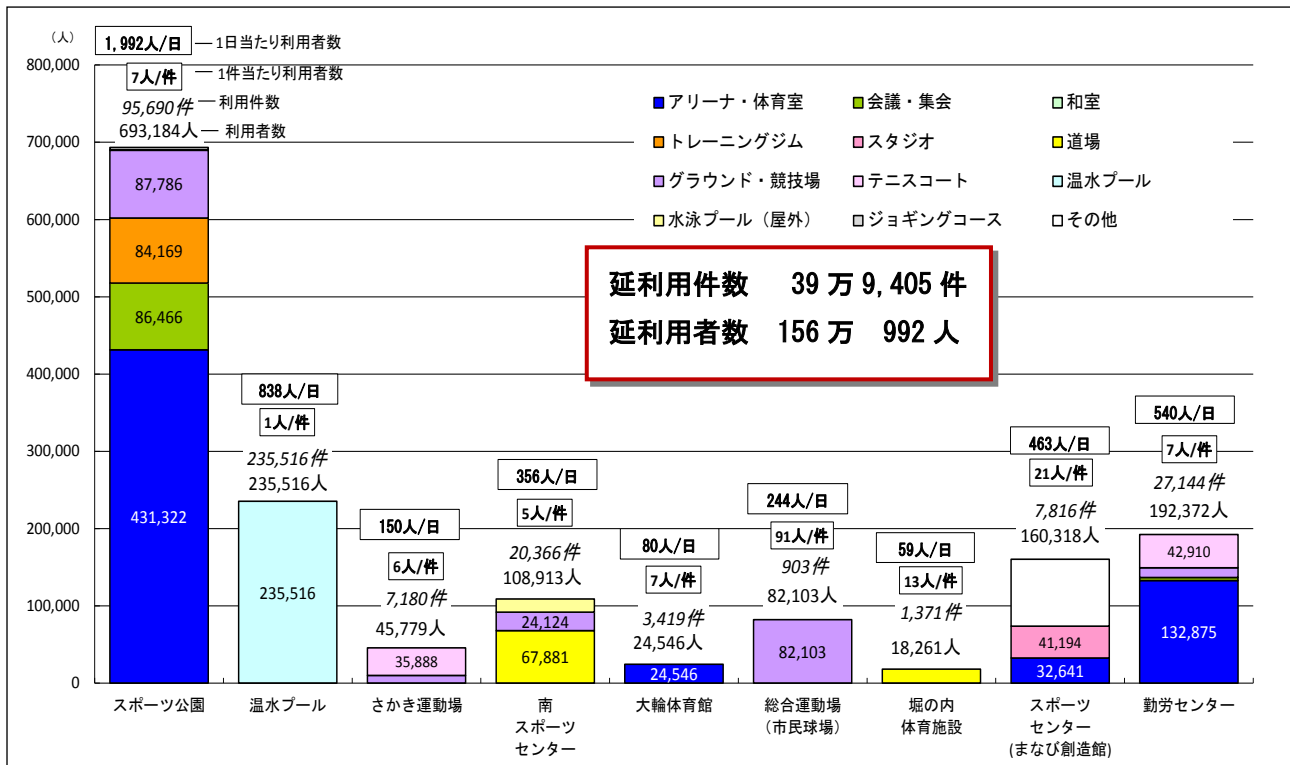
② 利用状況

■ 全体の利用状況

利用件数は年間約 39.9 万件、利用者数は約 156.1 万人です。

利用件数の機能別の内訳をみると、温水プールが約 59%を占めており、次いでトレーニングジムが約 21%を占めています。

図表 施設別・機能別利用者数（平成 24 年度）



	利用者数 (人)	利用件数 (件)
アリーナ・体育室	621,384	31,845
会議・集会	90,261	2,555
トレーニングジム	84,169	84,169
スタジオ	41,194	1,940
道場	86,142	4,333
グラウンド・競技場	216,696	3,185
テニスコート	78,798	16,774
温水プール	235,516	235,516
水泳プール（屋外）	16,908	16,908
ジョギングコース	797	797
その他	89,127	1,383
合計	1,560,992	399,405

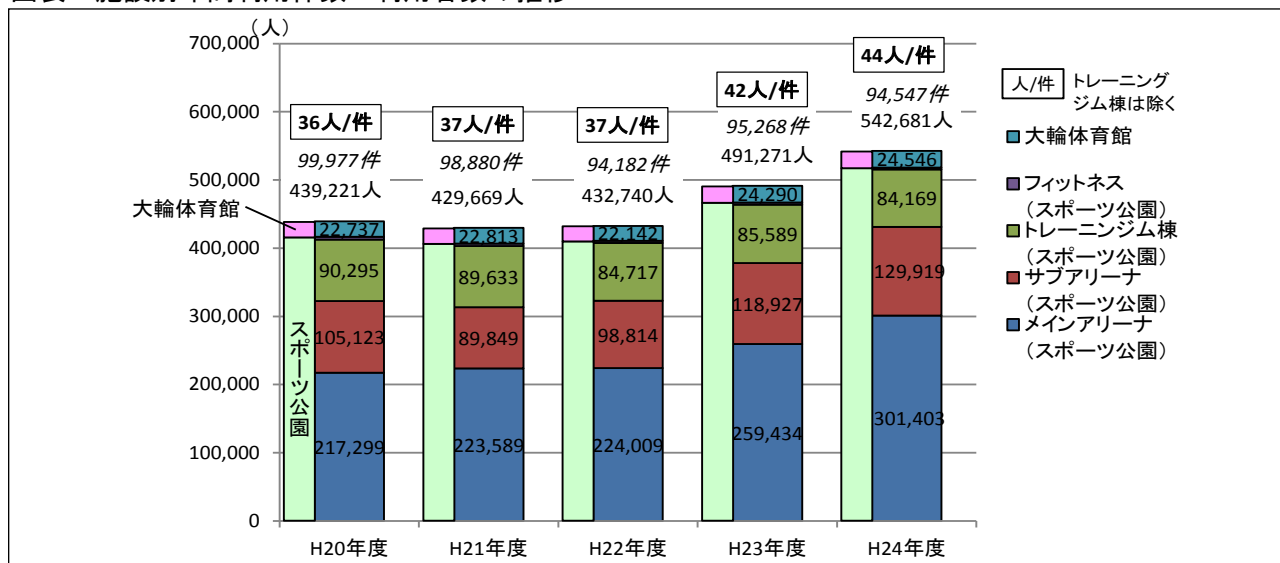
■ 体育館利用推移

利用件数の推移をみると、平成 20 年度 9 万 9,977 件から平成 24 年度 9 万 4,547 件と、減少傾向で推移しています。

利用者数の推移は、平成 21 年度 42 万 9,669 人から平成 24 年度 54 万 2,681 人と、増加傾向で推移しています。平成 24 年度は前年度と比較して約 10%増加しています。

利用 1 件当たりの利用者数（トレーニングジム棟除く）は、36 人/件から 44 人/件と、増加しています。

図表 施設別年間利用件数・利用者数の推移



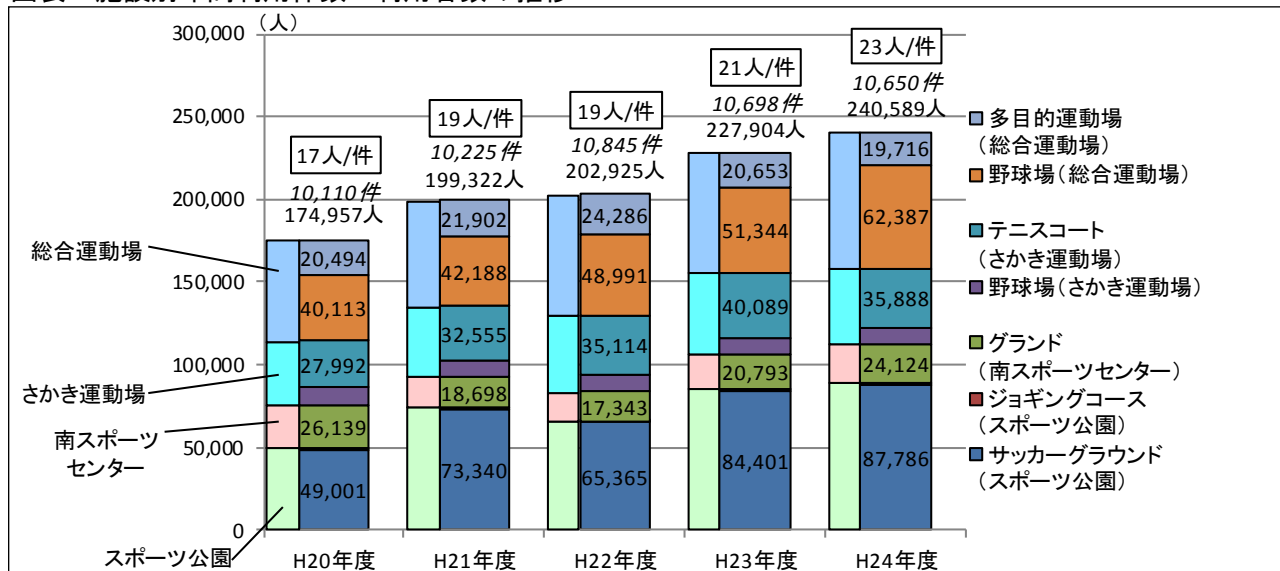
■ 運動場利用状況

利用件数の推移をみると、平成 20 年度 1 万 110 件から平成 24 年度 1 万 650 件と、横ばいで推移しています。

利用者数の推移は、平成 20 年度 17 万 4,957 人から平成 24 年度 24 万 589 人と、増加傾向で推移しています。平成 24 年度は前年度と比較して約 6%増加しています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 20 年度は 14 人/件でしたが、平成 24 年度は 23 人/件と増加しています。

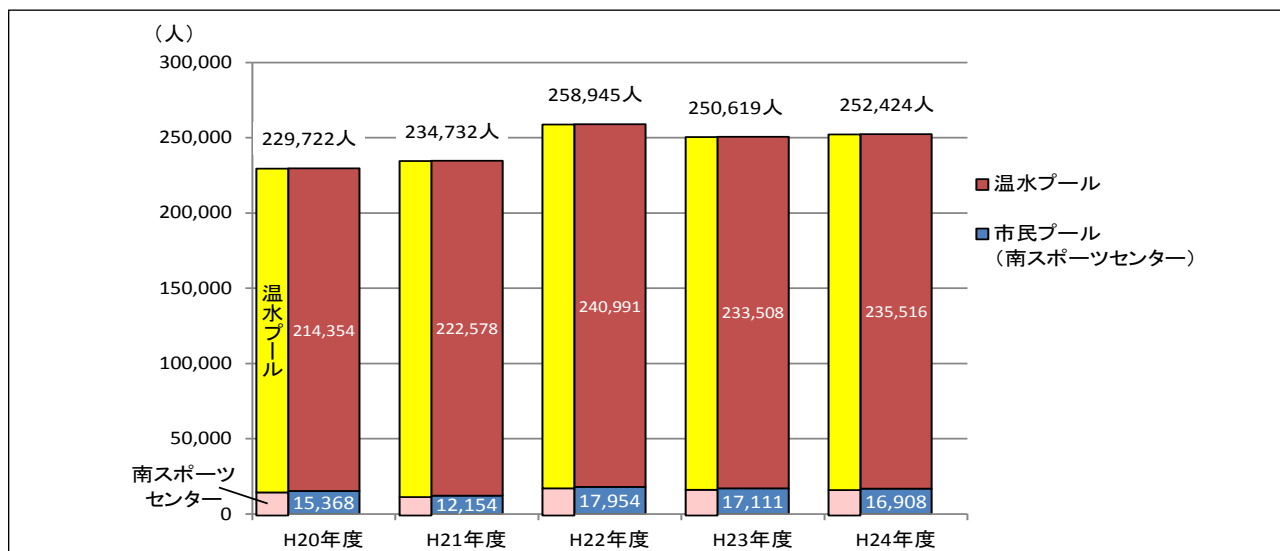
図表 施設別年間利用件数・利用者数の推移



■ プール利用状況

利用者数の推移は、平成20年度22万9,722人から平成22年度25万8,945人と増加しました。平成24年度は25万2,424人となっています。

図表 施設別利用者数の推移



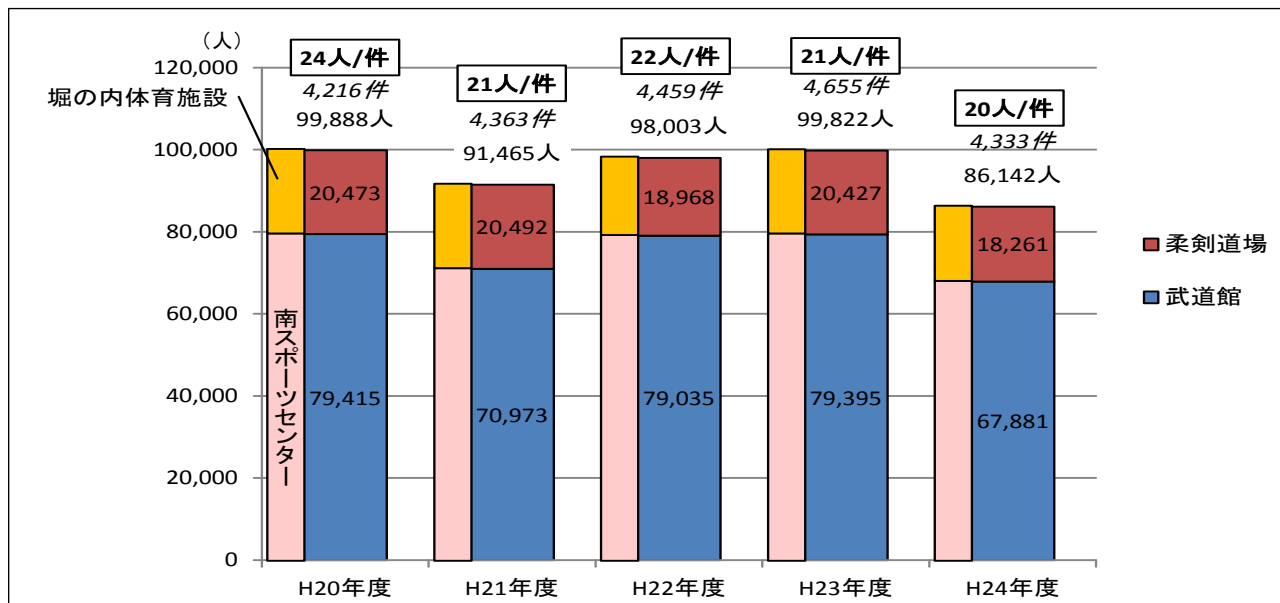
■ 道場利用状況

利用件数の推移をみると、平成20年度4,216件から平成23年度4,655件と増加しましたが、平成24年度は4,333件と、前年度と比較して約7%減少しています。

利用者数の推移は、平成20年度9万9,888人から平成23年度9万9,822人と安定して推移していましたが、平成24年度は86,142人と、前年度と比較して約14%減少しています。

利用1件当たりの利用者数は、平成20年度は24人/件でしたが、平成21年度以降は20人/件から22人/件となっています。

図表 施設別年間利用件数・利用者数の推移



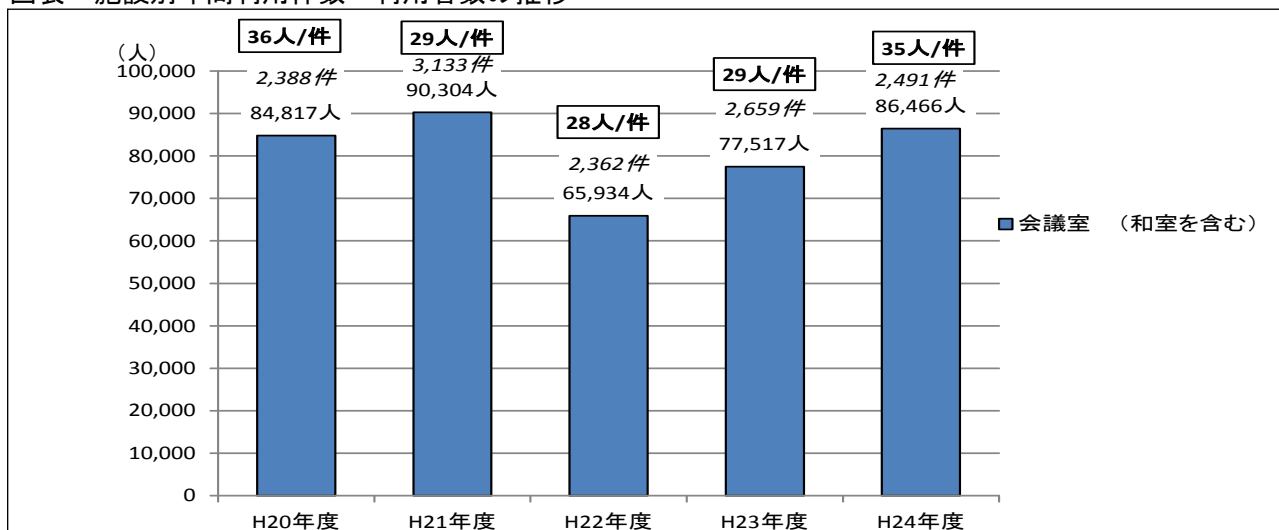
■ スポーツ公園(会議室)利用状況

利用件数の推移をみると、平成 21 年度は 3,133 件でしたが、平成 22 年度は 2,362 件と一度減少し、平成 24 年度には 2,491 件となっています。

利用者数の推移は、平成 21 年度は 9 万 304 人でしたが、平成 22 年度は 6 万 5,934 人と一度減少し、平成 24 年度には 86,466 人となっています。前年度と比較して約 12%増加しています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 20 年度の 36 人/件から平成 22 年度の 28 人/件と一度減少し、平成 24 年度には 35 人/件となっています。

図表 施設別年間利用件数・利用者数の推移



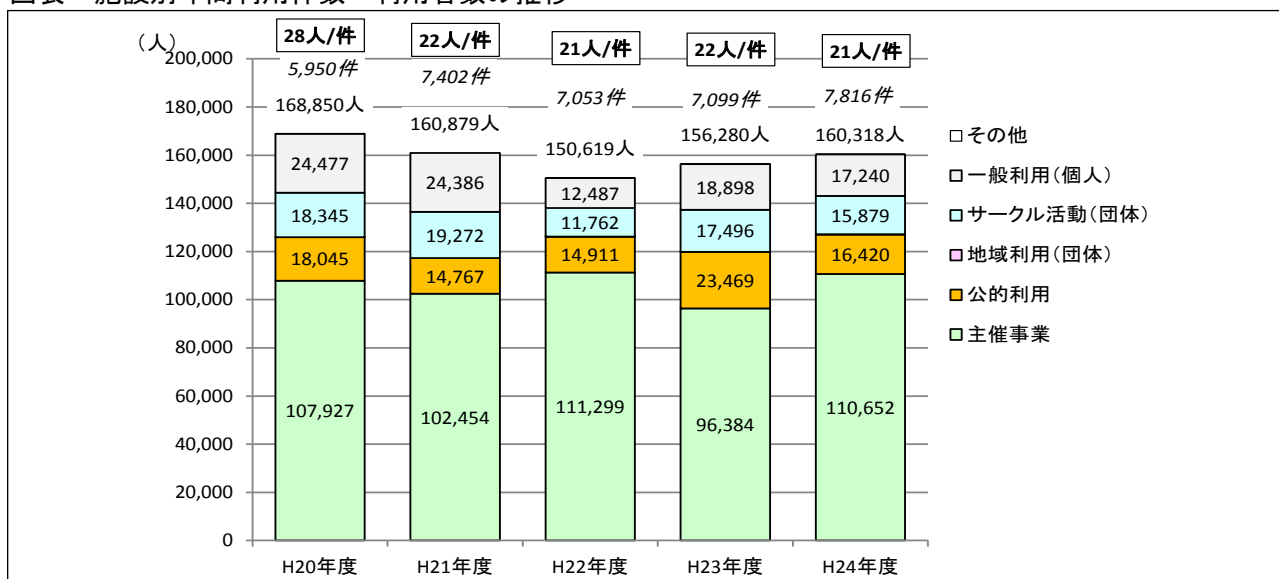
■ スポーツセンター(まなび創造館)利用状況

利用件数の推移をみると、平成 20 年度 5,950 件から平成 24 年度 7,816 件と、増加傾向で推移しています。

利用者数の推移は、平成 22 年 15 万 619 人から平成 24 年度 16 万 318 人と、増加傾向で推移しています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 20 年度は 28 人/件でしたが、平成 21 年度以降は 21 人/件から 22 人/件となっています。

図表 施設別年間利用件数・利用者数の推移



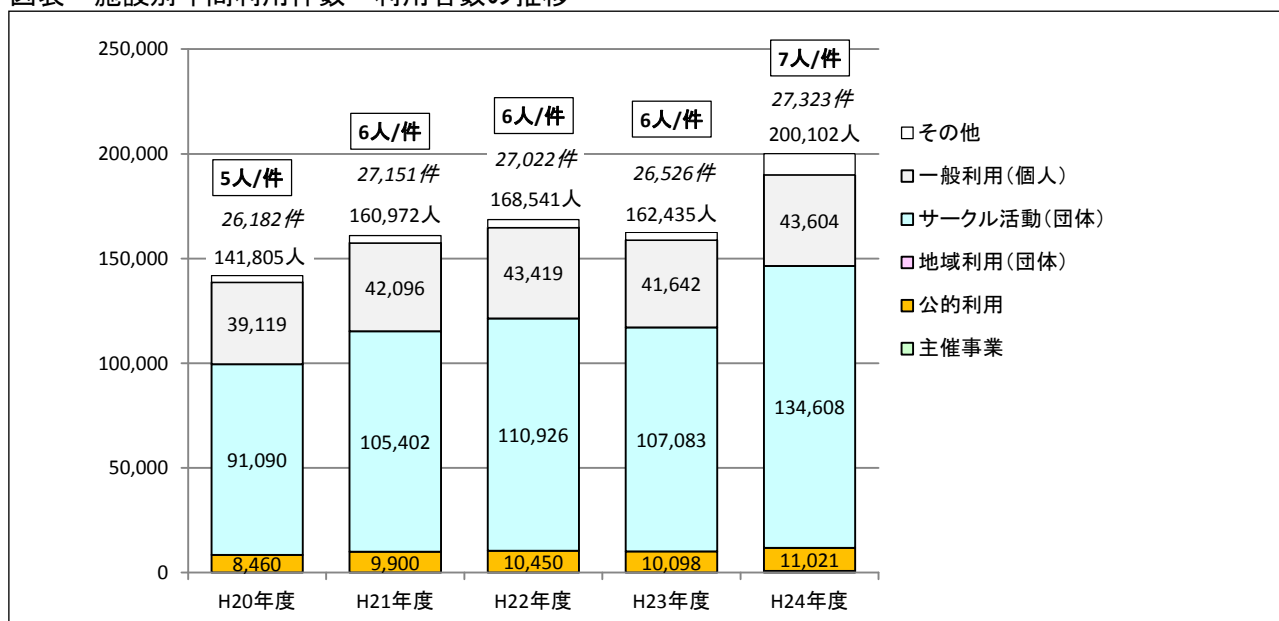
■ 勤労センター（体育館）利用状況

利用件数の推移をみると、平成 20 年度 26,182 件から平成 24 年度 27,323 件と、増加傾向で推移しています。

利用者数の推移は、平成 20 年度 14 万 1,805 人から平成 24 年度 20 万 102 人と、増加傾向で推移しています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 20 年度 5 人/件から平成 24 年度 7 人/件となっています。

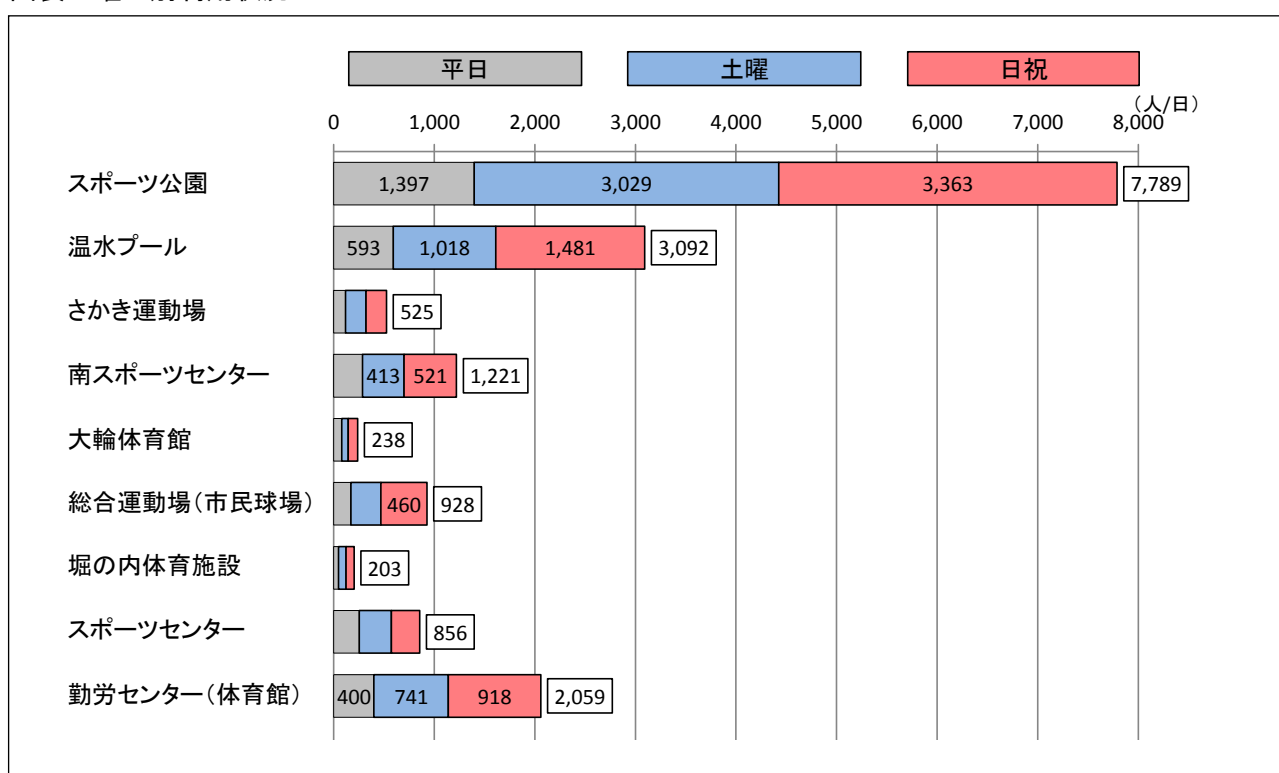
図表 施設別年間利用件数・利用者数の推移



■ 曜日別利用状況

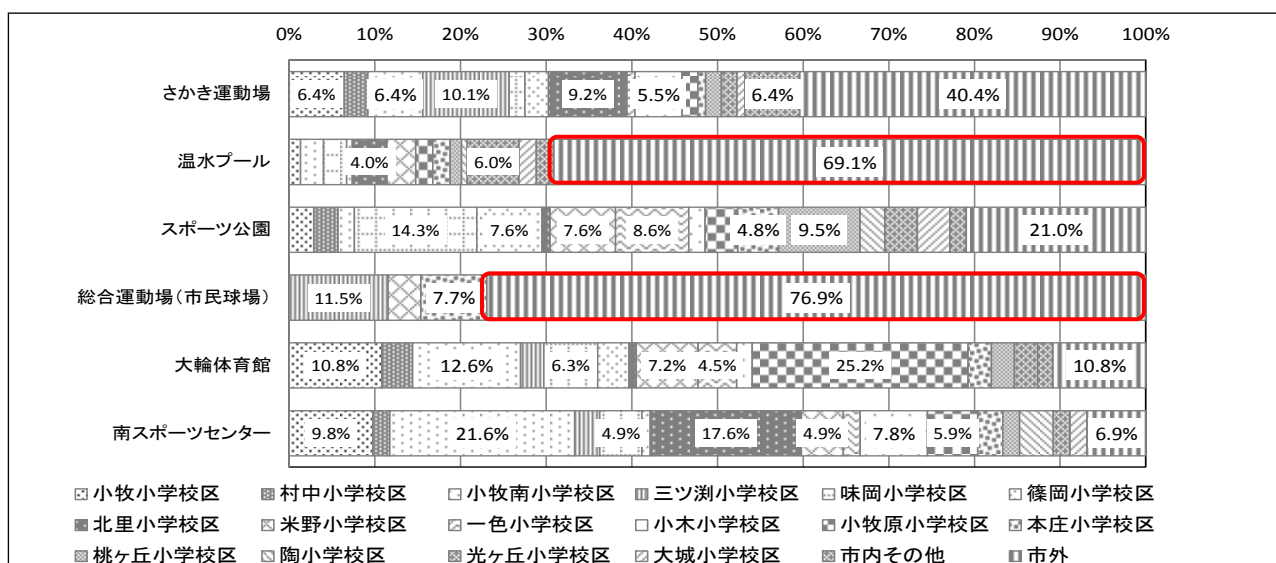
曜日別の利用状況をみると、いずれの施設も週末の利用が多くなっています。

図表 曜日別利用状況

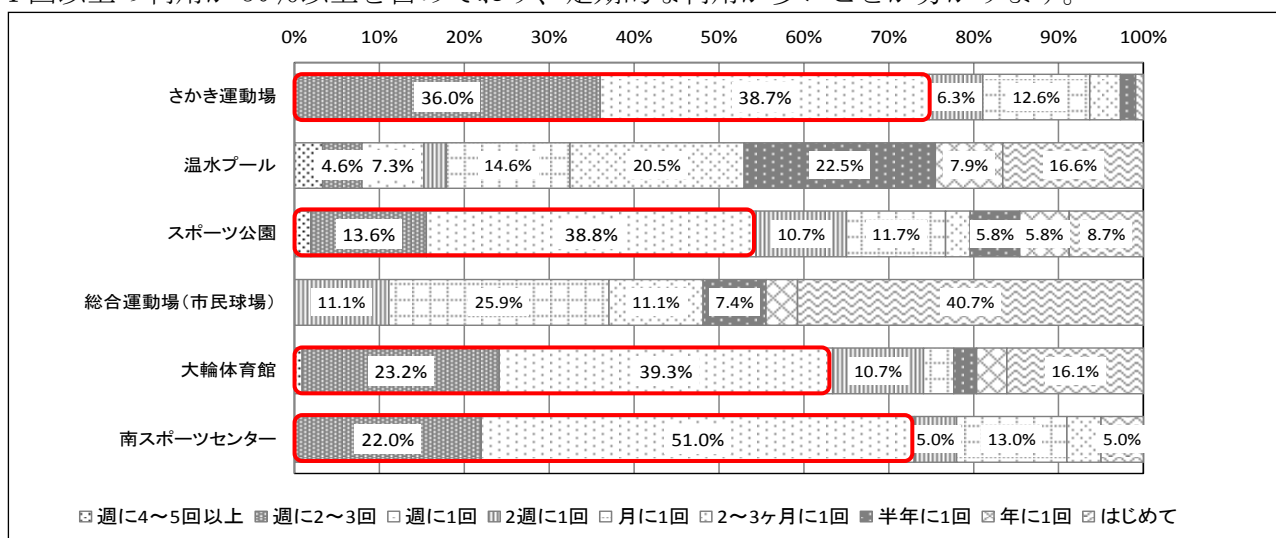


■ 利用者アンケート

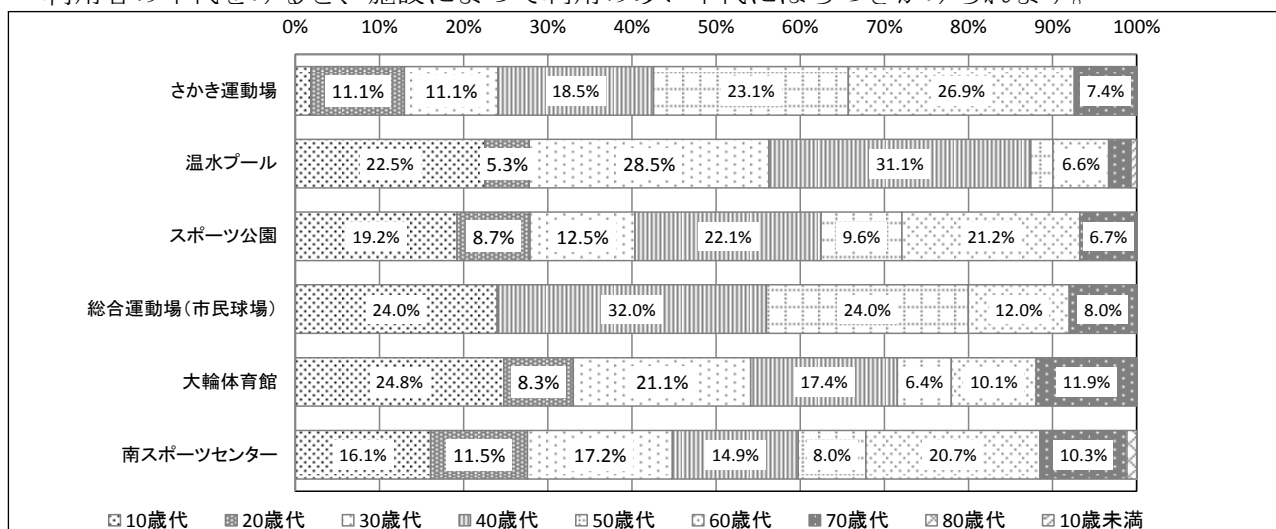
利用者の居住地をみると、さかき運動場、温水プール、スポーツ公園、総合運動場（市民球場）は市外の利用が最も多く、特に温水プール、総合運動場（市民球場）では大半を占めています。



利用頻度をみると、さかき運動場、スポーツ公園、大輪体育館、南スポーツセンターは、週に1回以上の利用が50%以上を占めており、定期的な利用が多いことが分かります。



利用者の年代をみると、施設によって利用の多い年代にばらつきがみられます。



③ 運営状況

スポーツセンター(まなび創造館)は、業務を委託して運営しています。委託先の職員は、25 人が従事しています。

その他施設は、指定管理者制度を導入しています。指定管理者職員は、12 人が従事しています。

図表 運営人員 (平成 24 年度)

(人)

		スポーツ公園	温水プール	さかき運動場	南スポーツセンター	大輪体育館	総合運動場(市民球場)	スポーツセンター(まなび創造館)	合計
	運営形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	委託	
施設維持管理	臨時職員	8.0	10.0	6.0	5.0	3.0	5.0		37.0
	委託先職員							2.0	2.0
	計	8.0	10.0	6.0	5.0	3.0	5.0	2.0	39.0
施設利用に関する受付・案内	臨時職員	4.0	3.0						7.0
	委託先職員							23.0	23.0
	計	4.0	3.0					23.0	30.0
窓口・受付	臨時職員		5.0						5.0
	計		5.0						5.0
指定管理者	指定管理者職員	3.0	5.0	1.0	1.0		2.0		12.0
	計	3.0	5.0	1.0	1.0		2.0		12.0
合計	指定管理者職員	3.0	5.0	1.0	1.0		2.0		12.0
	臨時職員	12.0	18.0	6.0	5.0	3.0	5.0		49.0
	委託先職員							25.0	25.0
	合計	15.0	23.0	7.0	6.0	3.0	7.0	25.0	86.0

※勤労センター（体育館）の人員は勤労センターにて把握

■ 運営体制

スポーツセンター(まなび創造館)は、委託職員が 25 人従事しています。

スポーツ公園は指定管理職員が 15 人、温水プールは 23 人、さかき運動場は 7 人、南スポーツセンターは 6 人、大輪体育館は 3 人、総合運動場(市民球場)は 7 人が従事しています。

なお、堀の内体育施設の専従職員はおりません。

図表 運営体制 (平成 24 年度)

(まなび創造館) スポーツセンター		7:30	22:00
	平日 土・日曜日・祝日 運営体制 25人	委託職員 25人 ※2	
※1 スポーツ施設	平日 土・日曜日・祝日 運営体制 3～23人	指定管理者職員 3～23人 ※2	

※1 スポーツ公園、温水プール、さかき運動場、南スポーツセンター、大輪体育館、総合運動場(市民球場)

※2 2交代制勤務

④ コスト状況

■ 指定管理施設のコスト状況（対象7施設）

市のコストと指定管理者のコストをあわせて整理した7施設の年間トータルコストは、8億6,812万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は4億1,283万円、事業運営にかかるコスト（人件費、その他物件費等）は1億3,036万円、減価償却相当額は3億2,493万円です。当該施設から年間1億6,448万円の収入があります。

図表 市及び指定管理者の行政コスト計算書（平成24年度）

(円)

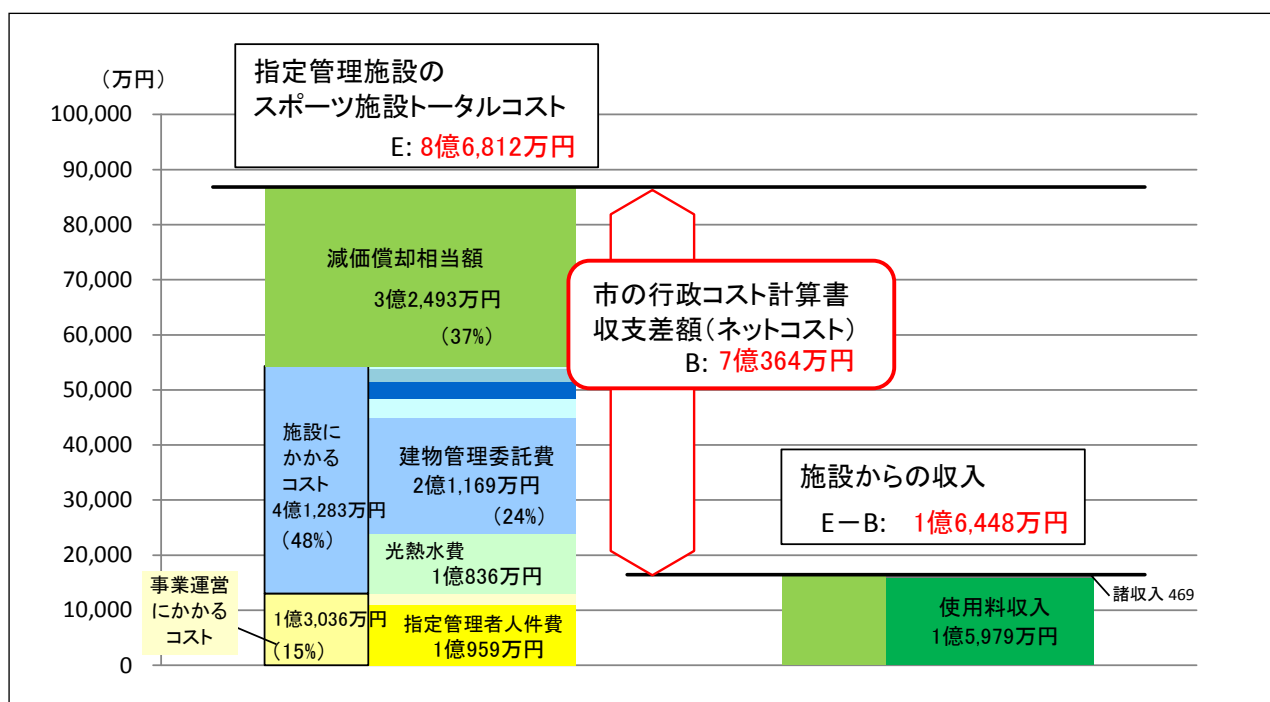
市の行政コスト計算書	Ⅰ. 現金収支を伴うもの【コストの部】		スポーツ公園	温水プール	さかき運動場	南スポーツセンター	大輪体育館	総合運動場	堀の内体育施設	合計
	施設にかかるコスト	修繕費	3,990,000	0	0	0	0	0	0	3,990,000
		改修費	0	9,450,000	0	11,951,100	0	9,870,000	0	31,271,100
		建物管理委託費	0	1,113,000	0	1,239,000	0	1,165,500	0	3,517,500
		負担金	0	4,537,575	0	0	0	0	0	4,537,575
		施設にかかるコスト計	3,990,000	15,100,575	0	13,190,100	0	11,035,500	0	43,316,175
	事業運営にかかるコスト	車両・備品購入費	182,570	53,820	0	144,720	0	0	0	381,110
		委託費	0	535,500	0	0	0	0	0	535,500
		その他物件費	0	0	0	0	0	41,000	0	41,000
		事業運営にかかるコスト計	182,570	589,320	0	144,720	0	41,000	0	957,610
	指定管理料 ②		201,724,747	179,611,482	23,200,996	47,317,077	7,334,126	38,483,738	1,243,575	498,915,741
	現金収支を伴うコスト 計 ①		205,897,317	195,301,377	23,200,996	60,651,897	7,334,126	49,560,238	1,243,575	543,189,526
	【収入の部】									
	使用料収入		62,990,431	80,099,911	5,350,922	4,622,089	1,299,110	5,078,546	348,369	159,789,378
諸収入		73,560	2,823,000	863,497	0	0	931,108	0	4,691,165	
現金収支を伴う収入 計 ④		63,063,991	82,922,911	6,214,419	4,622,089	1,299,110	6,009,654	348,369	164,480,543	
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの【コストの部】										
減価償却相当額 ③		193,081,710	84,706,140	1,065,790	8,097,000	4,032,360	30,156,800	3,787,800	324,927,600	
Ⅲ. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）（①+③）		398,979,027	280,007,517	24,266,786	68,748,897	11,366,486	79,717,038	5,031,375	868,117,126	A
収支差額（ネットコスト）（A-④）		335,915,036	197,084,606	18,052,367	64,126,808	10,067,376	73,707,384	4,683,006	703,636,583	B

指定管理者のコスト計算書	Ⅰ. 現金収支を伴うもの【コストの部】		スポーツ公園	温水プール	さかき運動場	南スポーツセンター	大輪体育館	総合運動場	堀の内体育施設	合計
	施設にかかるコスト	修繕料	7,975,510	13,843,158	485,415	4,291,218	89,775	1,884,235	596,400	29,165,711
		光熱水費	50,026,025	34,910,415	3,103,605	10,289,614	1,469,999	8,073,338	489,542	108,362,538
		建物管理委託費	92,968,359	100,761,518	339,495	10,280,103	96,600	3,628,597	95,340	208,170,012
		使用料及び賃借料	10,967,433	7,662,706	365,802	3,710,593	172,788	920,702	16,602	23,816,626
		施設にかかるコスト計	161,937,327	157,177,797	4,294,317	28,571,528	1,829,162	14,506,872	1,197,884	369,514,887
	事業運営にかかるコスト	指定管理者人件費	36,096,510	10,553,000	17,964,888	16,831,170	5,423,980	22,724,460	0	109,594,008
		委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他物件費	3,690,910	11,880,685	941,791	1,914,379	80,984	1,252,406	45,691	19,806,846
		事業運営にかかるコスト計	39,787,420	22,433,685	18,906,679	18,745,549	5,504,964	23,976,866	45,691	129,400,854
	現金収支を伴うコスト 計 ⑤		201,724,747	179,611,482	23,200,996	47,317,077	7,334,126	38,483,738	1,243,575	498,915,741
	【収入の部】									
	指定管理料 ②		201,724,747	179,611,482	23,200,996	47,317,077	7,334,126	38,483,738	1,243,575	498,915,741
	現金収支を伴う収入 計 ⑥		201,724,747	179,611,482	23,200,996	47,317,077	7,334,126	38,483,738	1,243,575	498,915,741
Ⅲ. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）（⑤）		201,724,747	179,611,482	23,200,996	47,317,077	7,334,126	38,483,738	1,243,575	498,915,741	C
指定管理者収支（⑥-⑤）		0	0	0	0	0	0	0	0	D

市と指定管理者の純計後トータルコスト（E=A+C+D-②）		398,979,027	280,007,517	24,266,786	68,748,897	11,366,486	79,717,038	5,031,375	868,117,126	E
-------------------------------	--	-------------	-------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-------------	---

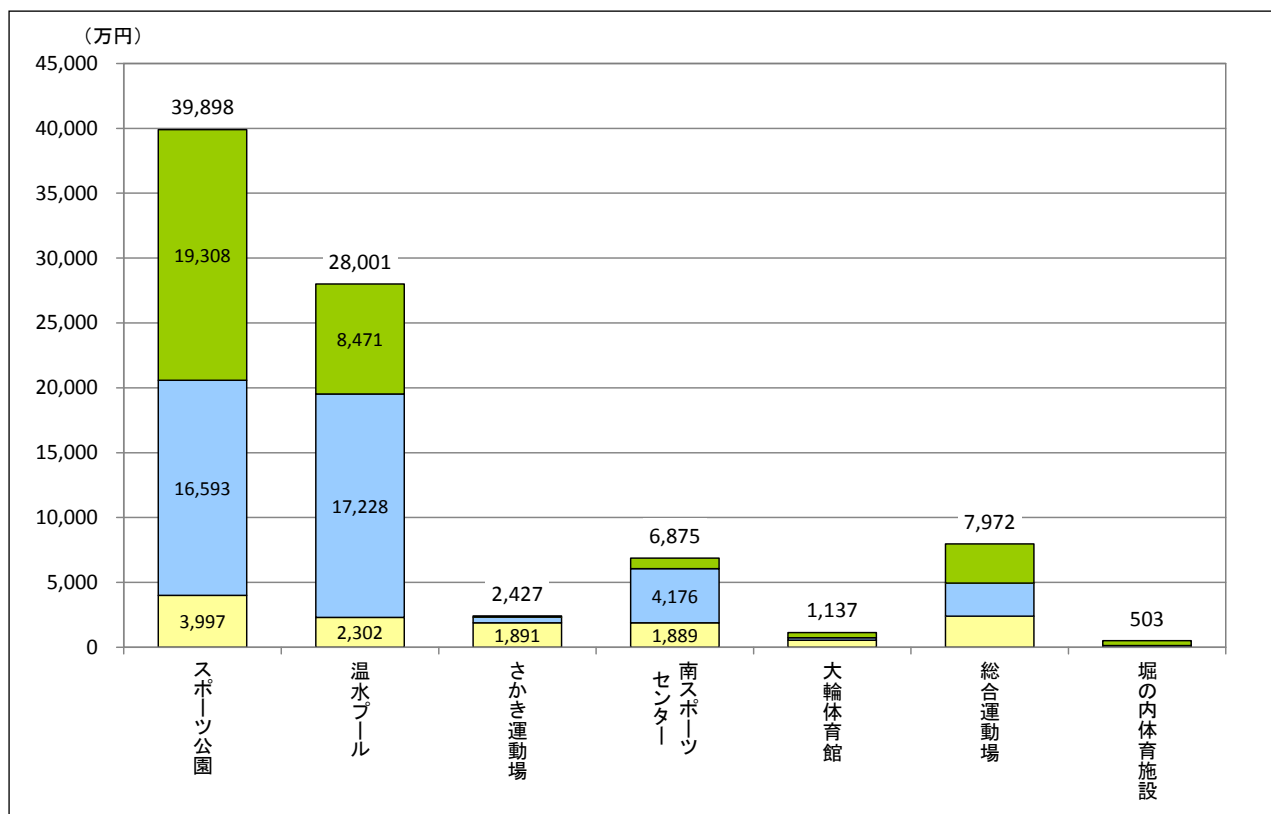
※勤労センター（体育館）のコストは勤労センターにて把握する

図表 指定管理施設トータルコスト（平成 24 年度）



施設別トータルコストでは、堀の内体育施設の 503 万円からスポーツ公園の 3 億 9,898 万円となっています。

図表 指定管理施設の施設別トータルコスト（平成 24 年度）



■ 直営施設のコスト状況

直営施設であるスポーツセンター（まなび創造館）の年間トータルコストは、8,259 万円です。

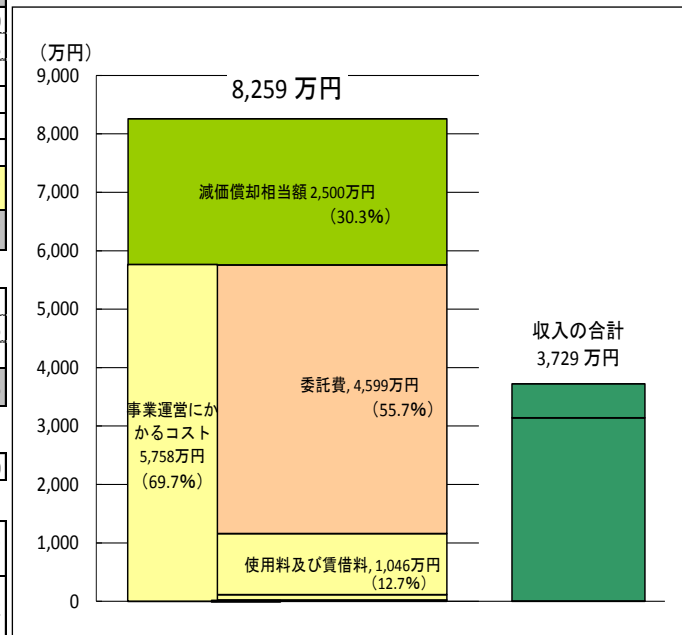
年間トータルコストのうち、事業運営にかかるコストが 5,758 万円（70%）、減価償却相当額が 2,500 万円（30%）となっています。

トータルコストのうち、委託費が 4,622 万円（56%）となっています。

図表 行政コスト計算書（平成 24 年度）

			(円)
Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】			スポーツ センター(まなび 創造館)
事業 運営 にか かる コ スト	運 事 営 業	委託費	45,990,000
		使用料及び賃借料	10,457,508
		その他物件費	905,319
		事業運営	57,352,827
	主催事業	委託費	231,000
		主催事業	231,000
		事業運営にかかるコスト	57,583,827
現金収支を伴うコスト 計			57,583,827
【収入の部】			
収入	手数料収入		22,400
	使用料収入		31,456,655
	諸収入		5,812,570
収入の合計			37,291,625
Ⅱ.現金収支を伴わないもの			
コスト	減価償却相当額		25,003,750
Ⅲ.総括			
コストの部合計(トータルコスト)			82,587,577
収支差額(ネットコスト)			45,295,952

図表 トータルコスト（平成 24 年度）

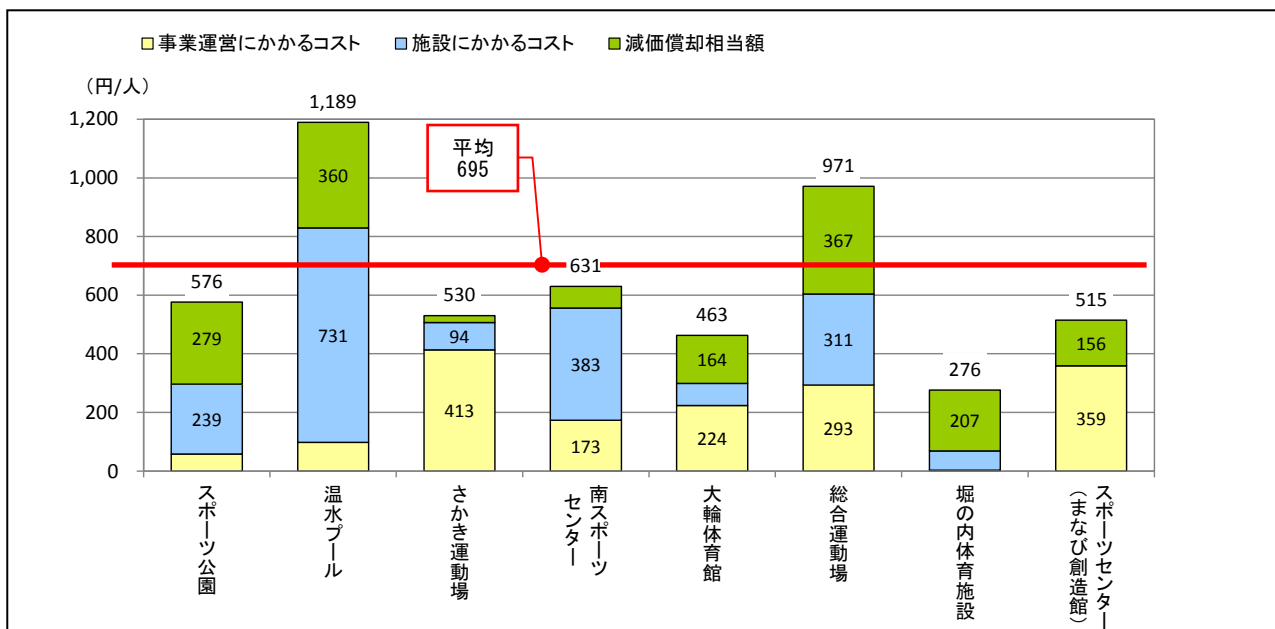


3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は695円です。施設別では、堀の内体育施設の276円/人から温水プールの1,189円/人となっています。

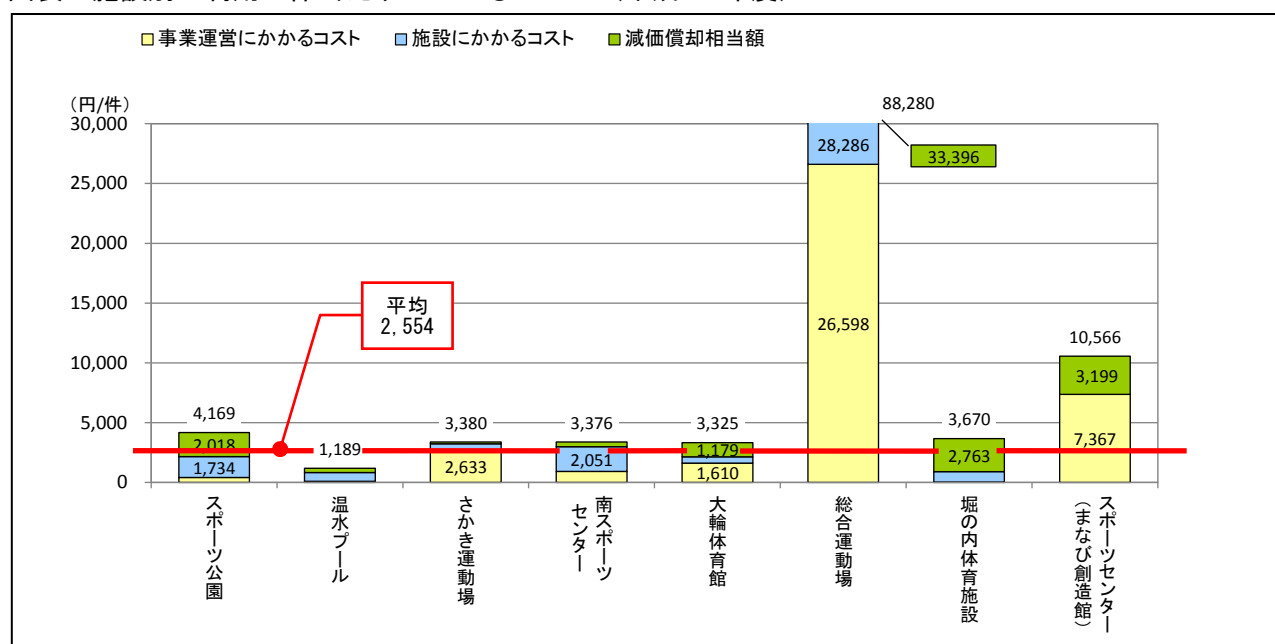
図表 施設別 利用者1人当たりにかかるコスト（平成24年度）



■ 利用1件当たりにかかるコスト

年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、平均は2,554円です。施設別では、温水プールの1,189円/件から総合運動場の8万8,280円/件となっています。

図表 施設別 利用1件当たりにかかるコスト（平成24年度）



4) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 大輪体育館は耐震安全性を確保しているものの老朽化が進行しており、温水プールも築 20 年以上経過しているため、計画的な維持保全を実施する必要があります。その際、バリアフリー化や環境対応への取組み等の検討も必要です。

■ 利用に関する視点

- スポーツ施設には、スポーツ公園のように世界大会等が行われ観客も多い広域スポーツ施設や、大輪体育館のように地元利用が中心の施設もあります。それぞれの利用実態に適した運営手法を検討するとともに、新たな利用者の発掘による利用率の向上や、他の事業との連携を含めた事業のあり方を検討していく必要があります。

施設写真		
		
スポーツ公園	温水プール	さかき運動場
		
南スポーツセンター	大輪体育館	総合運動場（市民球場）
		
堀の内体育施設	スポーツセンター(まなび創造館)	勤労センター(テニスコート)